

## 長期投資家の皆様へ

米大統領選のトランプ候補勝利は世界中のサプライズでありましたが、金融市場は目先、トランプ新政権の外交・防衛面等での不確実性を横に置いて、経済政策期待にことごとく関心を集中させていて、選挙後は米株式市場が史上最高値を更新しました。

トランプノミクスと呼ばれるようになった政策の方向性は、大胆な減税と規制緩和、そして米経済成長軌道を更に高めつつ長期に安定させることを主眼とした積極財政にあり、1980年代のレーガノミクスとの酷似になぞらえ、マーケットはその再来を囁いているのでしょうか。

トランプ氏の大統領就任は来年1月であり、経済政策の実効性は未知数ですから、明らかに期待先行相場ではありますが、少なくとも財政拡大政策がインフレ期待を盛り上げ、米金利上昇とドル高傾向へと大きく前提条件を傾斜させて行く可能性は高まったと言えます。

このトレンド変化は円安進行と直結し、日本経済の停滞感を払しょくする追い風となって、日本株市場にヘッジファンドのみならず長期筋の海外機関投資家資金が劇的に回帰している一方で、国内個人投資家は大きく日本株を売り越す顕著なコントラストが見られ、長期投資家視点からは残念な現象ですが、2016年は年初から1ドル=100円界限まで円高傾向が続いた流れが急速に修正されて、「セゾン号」の長期ツミタテ投資家にとっては結果として将来に向けた充実の1年になりそうです。

米トランプ政権誕生、英EU離脱、そして来年は欧州主要国での総選挙を控え、政治的には不確実性が増していますが、地球の実体経済全体は決して大きく損なわれるわけではなく、グローバリゼーションはプラス面とマイナス面を掛け合わせつつ安定した成長軌道を堅持して行くことでしょう。

今年は想定外のイベントが続き、目先の相場を予測することの難しさを私たちは改めて体感することが出来たはずです。日々の値動きを一切追わぬ「セゾン号」の長期国際分散投資は、21世紀のメガトレンドにしっかり乗って、泰然自若と進んでいます。

中野 晴啓

## 今月の市場動向

### 世界の株式市場についての概況

株式市場は、先進国を中心に上昇しました。

序盤、米国の大統領選挙の情勢が不透明になり、混乱への警戒が高まったほか、石油輸出国機構（OPEC）の減産合意の行方に不透明感が高まったことを背景に原油価格が下落したことから、軟調な展開となりました。

その後は、米国の大統領選挙で、安定感があり優勢と見られていたクリントン候補ではなく、過激な発言で注目を集め、政治手腕が未知数であるトランプ候補が勝利し、開票時間が取引時間と重なっていた一部の国では混乱への警戒が高まり、株式市場が大きく下落する局面もありましたが、トランプ候補の勝利演説が穏当なものであったことなどをきっかけに、トランプ次期大統領の経済政策に対する期待が一転して高まり、上昇しました。

中盤以降は、トランプ新政権による財政支出拡大期待などを背景に米国の株式市場が上昇し、米国で物価上昇観測が高まるなかで金利が上昇したことを受けてドルが上昇し、その結果円安が進行した日本の株式市場などが上昇する一方、資金流出への懸念が高まった新興国の株式市場はロシアや中国など一部の国を除いて下落基調となりました。

### 11 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) / 1 バレル	49.44 ドル	+5.51%
NY 金先物 (中心限月) / 1 トロイオンス	1173.9 ドル	-8.07%

米国の大統領選挙後に、米国で財政支出の拡大観測が高まったことを受けて、米国の株式市場は上昇しましたが、同時に長期金利が上昇したことから、米国以外の株式市場はやや力強さに欠ける動きとなりました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 11 月度の市場動向について

### 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤に発表された製造業の景況感指数は上昇したものの、原油価格が下落するなかで、大統領選挙で安定感があると見られていた民主党のクリントン候補と過激な発言や政治手腕などが不安視されていた共和党のトランプ候補の接戦が伝えられ、混乱への警戒が高まったことから軟調な展開となりました。

その後は、クリントン候補が優勢と報じられたことを受けて、安心感が広がって上昇し、大統領選挙では事前の予想に反してトランプ候補が勝利しましたが、同時に行われた議会選挙で共和党が多数を占め、政策が実行に移しやすくなるとの見方が広がったことやトランプ候補の勝利演説が穏当なものであったことからトランプ次期大統領の経済政策に対する期待が一転して高まり、大きく上昇しました。

中盤以降は、トランプ新政権による財政支出の拡大や減税、規制緩和への期待が高まる中で、堅調な経済指標の発表が続いたこともあって上昇基調が継続し、その後は利上げペースが加速するとの見方が強まったものの、先行きへの明るい見方が広がっていることを背景に一段と上昇しました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドル)	19123.58	+5.41%
S&P500 (米ドル)	2198.81	+3.42%
ナスダック総合指数 (米ドル)	5323.681	+2.59%

トランプ新政権による財政支出拡大への期待が高まっていますが、議会で多数を占める共和党は伝統的に小さな政府を志向する政党であることから、財政支出の拡大の実現には紆余曲折を経ることが予想されます。

### 欧州株式

欧州の株式市場は、概ね堅調な展開となりました。

序盤、原油価格が下落し、米国の大統領選挙に対する不透明感が高まるなかで、イタリアで銀行の経営不安が高まったことを受けてリスク回避志向が強まったほか、イングランド銀行のカーニー総裁が金融緩和姿勢を後退させ、ユーロ圏でも金融緩和観測が後退したことから下落基調となりました。

その後は、クリントン候補が優勢との報道を受けて安心感が広がって反発に転じ、米国の大統領選挙では予想外にトランプ候補が勝利しましたが、米国でトランプ新政権の政策に対する期待が高まるなかで、ドルが上昇したことにより、ユーロなどがドルに対して下落したこともあり、上昇基調が継続しました。

中盤以降は、米国の金利上昇の余波を受けて欧州でも金利が上昇したことや、12月に行われるイタリアの憲法改正の是非を問う国民投票を控え、政治的な混乱が生じることへの懸念が広がっていることもあり、景気の先行きに対する明るい見方が広がっていないことから、上昇には力強さを欠く展開となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数 (ユーロ)	10640.30	-0.23%
仏 CAC 指数 (ユーロ)	4578.34	+1.53%
英 FT100 指数 (英ポンド)	6783.79	-2.45%
スイス SMI 指数 (スイスフラン)	7875.19	+0.61%
MSCI Europe 指数 (ユーロ)	115.80	+0.92%

米国の大統領選挙で大衆迎合的な発言を繰り返していたトランプ候補が勝利したことを受けて、欧州でも同種の主張を行っている政党や候補者が選挙で勝利し、先行きへの不透明感が増すことへの懸念が強まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、日本銀行の金融政策決定会合で、政策方針の現状維持が決定されると共に、物価が目標の 2%に達する可能性が高いとする時期が 2018 年頃に先送りされ、金融緩和期待が後退するなかで、米国の大統領選挙の行方に不透明感が高まり、為替市場で円高が進行して、株式市場は軟調な展開となりました。

その後は、米国の大統領選挙でクリントン候補が優勢と報じられたことから、為替市場で円安となると共に、株式市場は上昇基調となりましたが、日本市場の取引時間中に大統領選挙の開票が行われ、トランプ候補の優勢が伝えられると、混乱への警戒が高まって、リスクを回避する動きが急激に強まり、為替市場で円高が進行すると共に株式市場は大きく下落しました。しかし、米国の取引時間に入ると、トランプ候補の勝利演説が穏当なものであったことなどから、一転してトランプ次期大統領の経済政策への期待が高まり、リスク選好が強まるなかで米国の株式市場が上昇し、為替市場でもドルが上昇して円安となったことから、翌日には急激に反発しました。

中盤以降は、7-9 月期の GDP が予想を超える伸びとなり、景気の先行きに対する明るい見方が広がったことや、米国で財政支出の拡大観測が高まり、長期金利が上昇するなかで、日本銀行が長期金利を低めに誘導する方針を打ち出していることから、米国と日本の金利差が拡大して為替市場で円安基調となったことを受けて、株式市場は堅調な展開となりました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数 (円)	18308.48	+5.07%
TOPIX[東証株価指数]	1469.43	+5.49%
MSCI Japan 指数 (円)	885.37	+5.82%

7-9 月期の GDP は予想を上回る伸びとなりましたが、輸出が堅調な伸びを示した一方で、個人消費や設備投資は伸び悩んでおり、力強さに欠ける状況が続いています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、やや力強さを欠く動きとなりました。

序盤に発表された中国の製造業の景況感指数が良好な結果となり、経済的に関係の深い中国経済の先行きに対する明るい見方が広がったほか、オーストラリアでは小売売上高が 2 ヶ月連続で予想を上回る伸びとなり、景気の先行きに対する明るい見方が広がったものの、原油価格が下落するなかで、米国の大統領選挙の行方に不透明感が高まったことから、リスク回避の動きが強まって下落基調となりました。

その後は、中国で貿易の低迷が続いていることが確認されたものの、米国の大統領選挙でクリントン候補が優勢と報じられたことを受けて安心感が広がって上昇基調となりましたが、太平洋地域の取引時間中に大統領選挙の開票が行われ、トランプ候補の優勢が伝えられると、先行きへの不透明感が高まって大きく下落しました。しかし、米国の取引時間に入るとトランプ候補の勝利演説が穏当なものであったことなどから、一転してトランプ次期大統領の経済政策への期待が高まり、翌日には落ち着きを取り戻して反発に転じました。

中盤以降は、中国で小売売上高や鉱工業生産の伸びが予想を下回り、先行きに対する明るい見方が後退するなかで、米国の長期金利が上昇し、資金流出への警戒が高まったことや、オーストラリアで雇用環境の悪化が確認されたことから、上昇には力強さを欠く展開となりました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数 (米ドル)	1180.85	-0.63%
S&P/ASX200 指数 (豪ドル)	5440.470	+2.31%
香港ハンセン指数 (香港ドル)	22789.77	-0.63%
シンガポール ST 指数 (シンガポールドル)	2905.17	+3.24%

オーストラリアでは、低迷していた小売売上高が 2 ヶ月連続で堅調な伸びを示したものの、このところ雇用がやや力強さを欠いており、引き続き、景気の先行きは不透明な状況です。

## 11 月度の市場動向について

### 新興国株式

新興国の株式市場は、中国やロシアを除いて下落しました。

序盤に発表された製造業の景況感指数は中国で上昇が確認されるなど、概ね堅調であったものの、序盤に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明を受けて 12 月に米国で利上げが行われるとの見方が一段と強まったほか、原油価格が下落するなかで米国の大統領選挙を巡る不透明感が高まり、リスク回避の動きが強まったことから、軟調な展開となりました。

その後は、中国の貿易統計で輸出の低迷が確認されたものの、米国の大統領選挙でクリントン候補が優勢と報じられたことを受けて安心感が広がって堅調な展開となりましたが、投票終了後に開票が進むに連れて、トランプ候補が優勢の見方が強まったことから、混乱への警戒が強まって、アジアの新興国市場が下落しました。しかし、欧州の取引時間に入ると次第に落ち着きを取り戻し、米国の取引時間に入るとトランプ候補の勝利演説が穏当なものであったことなどから、一転してトランプ次期大統領の経済政策への期待が高まり、翌日のアジアの新興国市場は反発に転じました。

中盤以降は、原油価格が反発に転じたものの、米国でトランプ新政権による財政支出の拡大や減税への期待が高まったことを受けて、長期金利が上昇し、その余波を受けて欧州や日本でも金利が上昇したことから、新興国からの資金流出懸念が高まり、多くの国の株式市場が軟調な展開となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	862.83	-4.67%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	61906.36	-4.65%
中国上海指数（中国元）	3250.035	+4.82%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	1983.48	-1.23%
台湾加権指数（台湾ドル）	9240.71	-0.53%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1029.05	+4.08%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	26652.81	-4.57%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	50209.43	-0.75%

米国の大統領選挙後に、米国で財政支出の拡大観測が高まったことを受けて、米国で長期金利が上昇し、その余波を受けて欧州や日本でも長期金利が上昇したことから、新興国の株式市場では資金流出への警戒が高まっています。

ただし、ロシアの株式市場は、トランプ次期大統領がロシアのプーチン大統領に好意的な態度を示していることから、現在米国がロシアに課している経済制裁の解除などへの期待が高まっており、比較的堅調に推移しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 11 月度の市場動向について

### 世界の債券市場についての概況

米国の大統領選挙で予想外にトランプ候補が勝利したことをきっかけに、米国で財政支出の拡大や減税が行われ、国債の発行が増大すると共に、物価が上昇するとの見方が台頭したことを受けて米国債が下落し、その余波を受けて欧州や日本の国債も下落しました。

#### 米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、下落しました。

序盤、原油価格の下落が続き、物価上昇観測が後退するなかで、クリントン候補とトランプ候補の接戦が伝えられ、大統領選挙を巡る不透明感が高まったこともあり、堅調な展開となりました。その後は、大統領選挙で予想外にトランプ候補が勝利したことをきっかけに、財政支出の拡大や減税への期待が高まり、国債の発行が増大すると共に物価が上昇するとの見方が台頭して下落し、中盤以降も、利上げペースが加速するとの見方が一段と高まったことを背景に軟調な展開が継続しました。

#### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	2.381%付近	+0.555%

#### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、主要国と周縁国の国債が共に下落しました。

序盤、イングランド銀行（BOE）のカーニー総裁が金融政策決定後の記者会見で金融緩和姿勢を後退させる発言を行い、イギリスで追加緩和観測が後退したことから、ユーロ圏でも金融緩和観測が後退したものの、原油価格の下落が続いているほか、米国の大統領選挙を巡る不透明感が高まったことを受けて堅調な展開となりました。その後は、米国の大統領選挙で予想外にトランプ候補が勝利した

ことをきっかけに財政赤字の拡大観測が高まり、米国債が下落した余波を受けてユーロ圏の国債も下落しましたが、中盤以降は、ユーロ圏では物価上昇観測が高まっておらず、金融緩和の長期化観測が根強いことから、堅調な展開となりました。

#### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	0.275%付近	+0.112%

#### 日本債券市場（国債）

日本の国債市場は、下落しました。

序盤に開催された日本銀行の金融政策決定会合で、政策方針の現状維持が決定されると共に、物価が目標の 2% に達する可能性が高いとされる時期が 2018 年頃に先送りされ、金融緩和期待が後退したものの、米国の大統領選挙の行方に不透明感が高まったことから、堅調な展開となりました。その後は、米国の大統領選挙で予想外にトランプ候補が勝利したことをきっかけに、財政赤字の拡大観測などが高まり、米国債が下落した余波を受ける形で下落基調となりましたが、日本銀行が長期金利を一定の水準に誘導する方針を示しており、実際に金利の上昇を抑制するための公開市場操作を行ったこともあり、終盤まで底堅い展開が継続しました。

#### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.025%付近	+0.073%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 11 月度の市場動向について

### 世界の為替市場についての概況

米国の大統領選挙では、政治手腕が不安視されているトランプ候補が予想外に勝利しましたが、勝利後はトランプ新政権の経済政策に対する期待が一転して高まるなかで、利上げ観測が高まってドルが大きく上昇し、ユーロや円が下落しました。

円は、日本銀行が長期金利を一定の水準に誘導する方針を示しており、実際に金利の上昇を抑制するための公開市場操作を行ったこともあり、米国や欧州との金利差が拡大するとの見方が強まって大きく下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

英ポンドは、イングランド銀行（BOE）のカーニー総裁が金融政策決定後の記者会見で金融緩和姿勢を後退させる発言を行い、イギリスで追加緩和観測が後退したことを受けて上昇しました。

### ドル・円

円はドルに対して、下落しました。

序盤、日本銀行の金融政策決定会合で政策方針の現状維持が決定されると共に、物価目標の達成時期が先送りされ、金融緩和期待が一段と後退して円が堅調な展開となる一方、米国の大統領選挙を巡る不透明感が高まりドルが下落し、円高ドル安となりました。その後は、米国の大統領選挙で予想外に勝利したトランプ次期大統領の政策が経済成長を加速させるとの期待が高まり、米国では金利が上昇すると共にドルが大きく上昇し、ドル高円安となりました。中盤以降は、円は日本銀行が長期金利を一定の水準に誘導する姿勢を示し、米国との金利差が拡大するなかで円は軟調な展開となり、円は対ドルで一段と下落しました。

### ユーロ・円

円はユーロに対して、下落しました。

序盤、日本銀行の金融政策決定会合で政策方針の現状維持が決定されると共に、物価目標の達成時期が先送りされ、金融緩和期待が一段と後退して円が堅調な展開となったものの、ユーロも金融緩和観測が後退したことを受けて堅調な展開となり、円は対ユーロで方向感の無い展開となりました。

その後は米国の大統領選挙を経て、米国経済の先行きに対する明るい見方が拡がり、米国で長期金利が上昇した余波を受けて、ユーロ圏の金利にも上昇圧力が掛かっている一方で、円は日本銀行が長期金利を一定の水準に誘導する姿勢を示していることから、今後、ユーロ圏と日本の間でも金利差が拡大するとの見方が強まっており、円は対ユーロでも下落しました。

### 11 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	114.45	+9.20% (円安)
円／ユーロ	121.20	+5.30% (円安)
ユーロ／ドル	1.0593	-3.53% (ユーロ安)

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」  
運用概況（2016年11月30日現在）

## 今月のマーケットと投資スタンス

【株式市場】トランプ新政権が打ち出す政策への期待から米国経済の先行きに対する明るい見方が拡がり、米国を中心に上昇。

【債券市場】財政赤字の拡大観測や物価上昇観測を背景に米国債が下落し、その余波を受けて欧州債や日本債も下落。

【為替市場】米国で景気の先行きに対する明るい見方が拡がりドルが上昇。円は大きく下落し対ドル、対ユーロで円安。

【投資スタンス】当ファンドは、定期積立プランでのご購入などにより皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンド及び株式ファンドへの投資を行いました。

## ファンドマネジャーからの一言

今月は、米国や日本などで株式に投資するファンドが上昇したものの、債券に投資するファンドが全て下落し、投資先のファンドは基準価額に大きな影響を与えませんでした。為替は、対ドル、対ユーロで大幅な円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 11月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

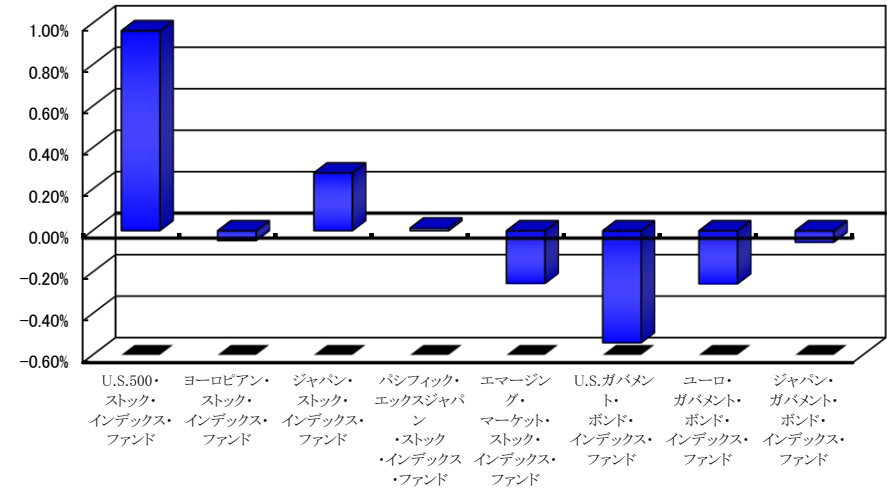
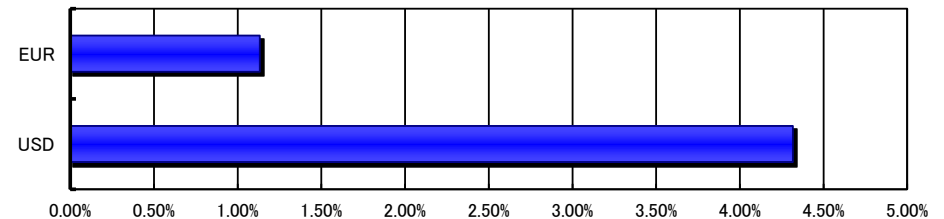


図2 11月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



※上記の表は、投資家の皆様へファンド基準価額の変動要因を簡潔に説明するため2016年11月30日現在の投資比率に基づき、ファンド及び為替レートの変動の影響を図示したものであり、実際の影響度合いとは異なります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド  
11 月度運用レポート

## I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2016年11月30日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	12,782円
純資産総額	1230.6億円

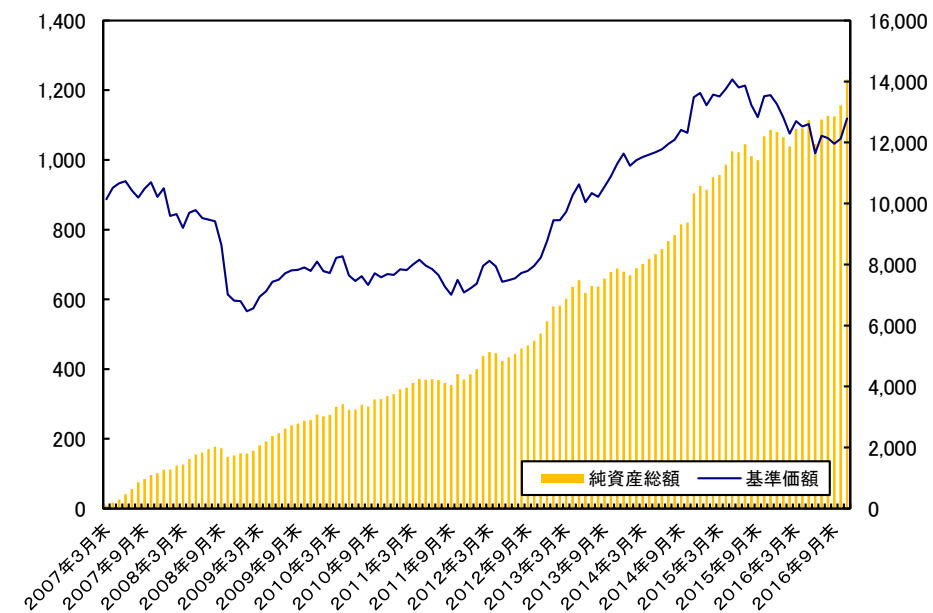
設定来騰落率	27.82%
過去1ヶ月間の騰落率	5.42%
過去6ヶ月間の騰落率	1.40%
過去1年間の騰落率	-5.71%
過去3年間の騰落率	13.08%

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2016年11月30日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	6,275	2009年1月26日
設定来高値	14,107	2015年6月4日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2016.12.5

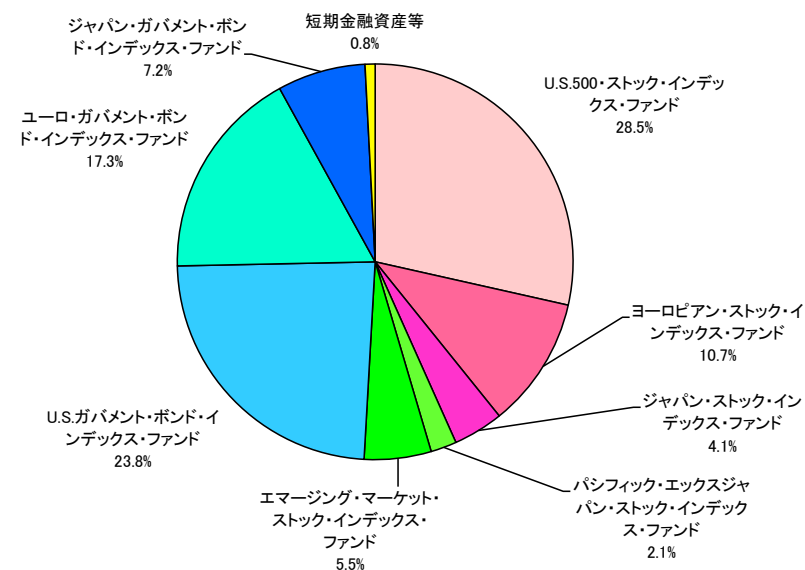
### Ⅱ：ファンド資産の状況（2016年11月30日現在）

#### 投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
U.S. 500・ストック・インデックス・ファンド	28.5%
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	10.7%
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	4.1%
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2.1%
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.5%
U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	23.8%
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	17.3%
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	7.2%
短期金融資産等	0.8%
合計	100.0%

※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

資産配分状況(2016年11月30日現在)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11月度運用レポート

販売用資料  
2016.12.5

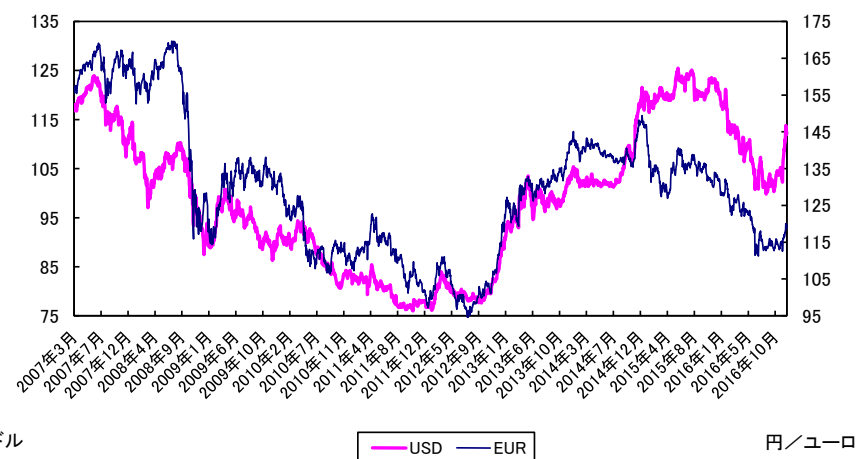
### Ⅲ：為替レートの推移

設定時からの為替レート

日付	円／ドル	円／ユーロ
2007年3月15日	117.27	155.09
2007年12月28日	114.15	166.66
2008年12月30日	91.03	127.96
2009年12月30日	92.10	132.00
2010年12月30日	81.49	107.90
2011年12月30日	77.74	100.71
2012年12月28日	86.58	114.71
2013年12月30日	105.39	145.05
2014年12月30日	120.55	146.54
2015年12月30日	120.61	131.77
2016年1月29日	120.87	132.17
2016年2月29日	113.62	124.11
2016年3月31日	112.68	127.70
2016年4月28日	109.75	124.12
2016年5月31日	110.94	123.65
2016年6月30日	102.91	114.39
2016年7月29日	104.42	115.67
2016年8月31日	103.18	114.95
2016年9月30日	101.12	113.36
2016年10月31日	104.86	115.05
2016年11月30日	112.42	119.70
変化率（設定来）	-4.14%	-22.82%
変化率（11月度）	7.21%	4.04%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年3月15日から2016年11月30日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

① 主に株式へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2016 年 11 月 30 日現在の値

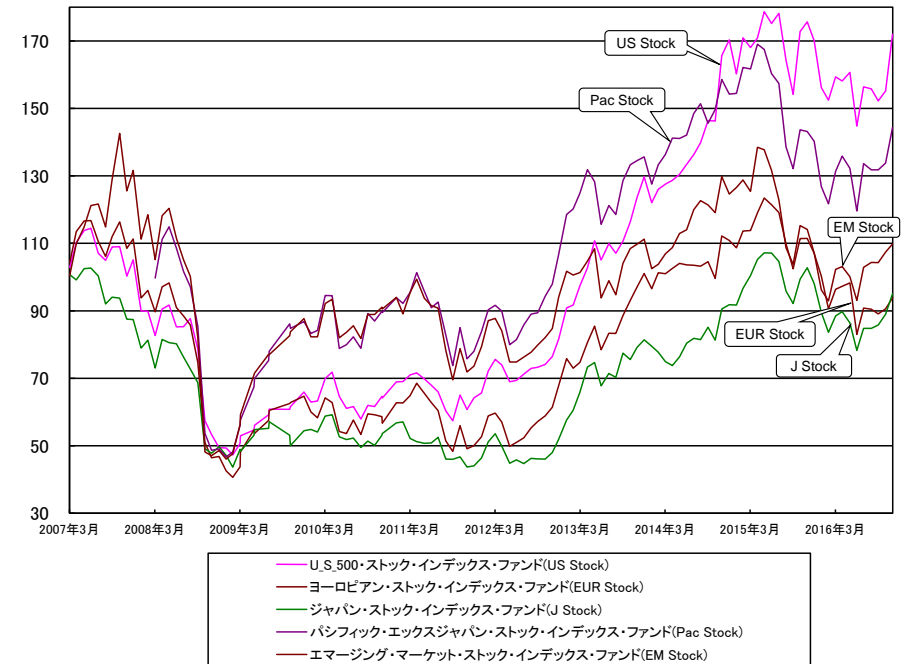
U. S. 500・ストック・インデックス・ファンド	172.0
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	93.8
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	95.0
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	144.3
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	109.8

2016 年 10 月 31 日の値を 100 とした場合の 2016 年 11 月 30 日現在の値（11 月の動き）

U. S. 500・ストック・インデックス・ファンド	110.8
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	103.6
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	106.8
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	107.9
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	102.2

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

組入れ開始以来の投資先株式ファンドの値の推移（円貨建て）



エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド、ジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2008 年 3 月 14 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 としして算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2016.12.5

### ② 主に債券へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2016 年 11 月 30 日現在の値

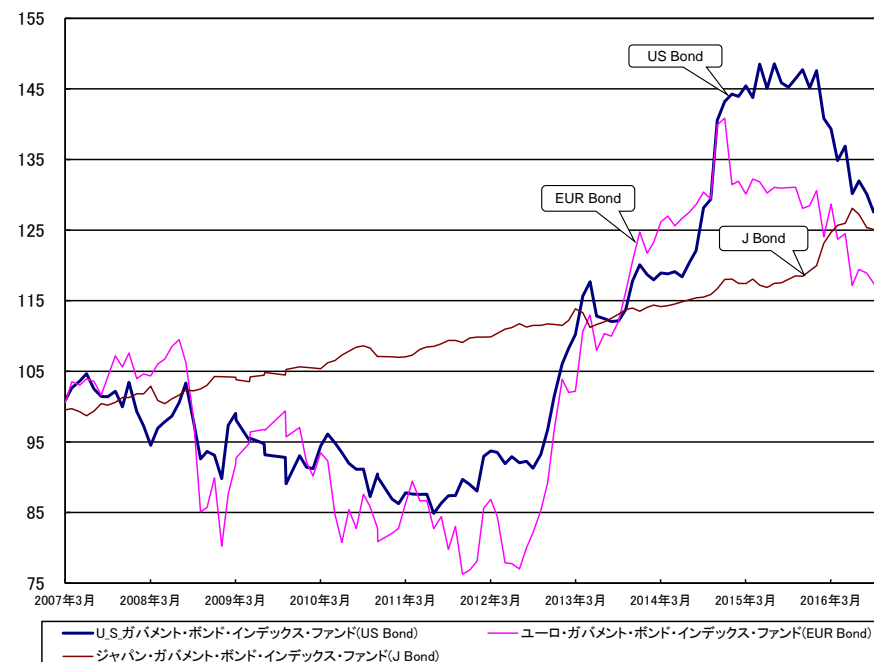
U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	136.6
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	119.5
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	123.7

2016 年 10 月 31 日の値を 100 とした場合の 2016 年 11 月 30 日現在の値（11 月の動き）

U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	104.8
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	102.5
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.2

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

### 組入れ開始以来の投資先債券ファンドの値の推移（円貨建て）



ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2016.12.5

### ■ファンドの特色

- ①幅広いリスク分散  
世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。だからリスクを分散して安定的な成果が期待できます。
- ②国内最低水準の手数料  
販売手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。同じタイプのファンドの中では国内最低水準の手数料を目指しました。
- ③バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ  
バンガード・グループは世界最大級の投信会社です。また、ローコスト・ハイクオリティ運用のリーダーとして認められています。投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。
- ④長期投資の為のファンド  
長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

### ■投資方針

- ①株式と債券の投資比率は、原則として 50 : 50 とします。
  - ②各地域の株式及び債券の時価総額を勘案し、投資先ファンドへの投資配分を決定いたします。配分比率は適宜見直しを行っていきます。
  - ③原則として、為替ヘッジは行ないません。
- ※資金動向、市場動向ならびに信託財産の規模等によっては上記の運用が出来ないこともあります。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### ■組入れファンドについて

- ①U.S.500・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：米国の大型株式に投資します。  
運用方針：S&P500 Index に連動する投資成果を目指します。
- ②ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：欧州先進国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Europe Index に連動する投資成果を目指します。
- ③ジャパン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Japan Index に連動する投資成果を目指します。
- ④パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本を除くアジア太平洋地域の先進国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Pacific ex-Japan Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑤エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：新興諸国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Emerging Markets Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑥U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：米国の国債および米国の政府系機関が保証発行する投資適格債券等に投資します。  
運用方針：Barclays U.S. Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑦ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：EMU(経済通貨同盟)に加盟するユーロ建ての国債等に投資します。  
運用方針：Barclays Euro Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑧ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本国債および日本の政府系機関が保証発行する投資適格債券等に投資します。  
運用方針：Barclays Japan Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

### ■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日、ニューヨークの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 3 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額  
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位  
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日、ニューヨークの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 3 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位 または 1 円以上、1 円単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 1 月 2 月 1 0 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

### ■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1% の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5076% (税抜 0.47%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.69% ± 0.03% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む) および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インド指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。